



米国シオノギインクの新たな事業戦略

2017年3月16日

塩野義製薬株式会社

代表取締役社長 手代木 功



創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける

成長する地域・領域

日米への集中

欧州・アジアの基盤整備

感染症

疼痛・神経



成長の鍵

社会課題の解決

**イノベーションと
医療経済性
のバランス**

シオノギの米国における事業展開



2001年 Shionogi USA, Inc.設立（ニュージャージー）

- 自社製品のグローバル開発

2008年 Sciele Pharma, Inc.買収（アトランタ）

- 米国事業展開の橋頭保

2010年 Shionogi Inc.に事業統合（ニュージャージー）

- 米国事業の強化に向けた再構築

2013年 新薬オスフィーナ[®]発売

- 米国において当社グループ初の新薬FDA承認

2016年12月 ナルデメジンに関するPurdue社との事業提携

- 疼痛治療市場におけるリーディングカンパニーとの提携による製品価値最大化
- 上市時の投資負担を軽減しながら、スムーズな立ち上げを図る

2017年3月 オスフィーナ[®]に関するDuchesnay社との事業提携

- 産科婦人科事業に特化したDuchesnay社との提携による製品価値最大化
- 2020年度まで売上高をシオノギインクに計上（8年間にわたり四半期ごとの最低支払を受領）

Purdue社

- 社名：Purdue Pharma L.P.
- 本社：米国 コネチカット州（非上場企業）
- 事業内容：慢性疼痛および乱用防止性のオピオイドに関する研究ならびに疼痛治療市場におけるリーディングカンパニー
- 主要製品：OxyContin[®], Hysingla[®], Butrans[®] 等



Duchesnay社

- 社名：Duchesnay Inc.
- 本社：カナダ ケベック州（非上場企業）
- 営業拠点：米国およびカナダ
- 事業内容：産科婦人科事業に特化
- 主要製品：Diclegis[®]（妊娠による嘔気・嘔吐治療薬）等



- **重点領域における世界水準のサイエンス**
- **投資効果を念頭に置いた臨床開発、パートナーとの事業提携、自社販売能力強化により製品価値を最大化**
- **競争力のある製品ポートフォリオの持続的な強化**
 - Purdue社との戦略的事業提携を活用したSymproic® (ナルデメジン) による疼痛領域への参入
 - Duchesnay社との戦略的事業提携を活用したオスフィーナ®の価値最大化
 - Cefiderocol (S-649266), S-033188 (Roche社とのコプロモーション) による感染症領域への参入
 - Cefiderocol, Symproic®, lusutrombopag (S-888711) による病院市場への参入

グローバル開発品 (2017年3月現在)



非臨床	Phase I	Phase II	Phase III	申請
抗緑膿菌抗体	S-117957 不眠症	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌 感染症	S-033188 インフルエンザ感染症	ナルデメジン オピオイド誘発性 便秘症
中枢性神経 障害性疼痛	S-237648 肥満症	S-120083 炎症性疼痛	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌 感染症	
肥満症		S-707106 2型糖尿病	ルストロンボパグ 慢性肝疾患による 血小板減少症	
LCM創薬 吸入剤		S-488210 頭頸部がん	オスフィーナ® 閉経後膣萎縮症に 伴う膣乾燥感	
		S-222611 悪性腫瘍	重点疾患領域	感染症
		S-588410 膀胱がん		疼痛・神経
				代謝性疾患
				フロンティア疾患

SGS2020達成に向けた米国事業の目標



2017年度 ビジネスモデルの再構築

- Purdue社、Duchesnay社との戦略的事業提携による経営基盤強化

2018年度 ブレークイーブン

- 病院市場に特化した自社製品による生産性の高い事業運営

2019年度 黒字化

- SGS2020の定量目標達成に向けた貢献

SGS2020の定量目標

成長性KPI

- ・新製品売上：2,000億円
- ・経常利益：1,500億円

効率性KPI

- ・ROIC：13.5%以上
- ・CCC：5.5ヵ月
- ・自社創薬比率：50%以上

株主還元KPI

- ・ROE：15%以上
- ・DOE：4.0%以上

将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。